

■活動内容

- ①ヘルプ
活動日時: 依頼時
内容: 見守り合い・資源ごみ(古紙回収)の手伝い・葉狩り・草むしり
- ②あったかサロン
開催日時: 第1・3月曜日、第2・4土曜日 / 参加費: 100円
場所: 彦根市小泉町771 / 内容: 茶話会・ゲーム・脳トレ・合奏・手芸など
- ③ウォーキング
活動日時: 週1回程度、約1時間 / 内容: ウォーキング
- ④菜園
活動日時: 随時 / 内容: 野菜作りなど



■団体名	小泉町安心安全助け合いパートナー (SSP) 代表者 川島順次郎
■参加者	彦根市小泉町 (城南学区)
■活動拠点 連絡先	小泉町安心安全助け合いパートナー (SSP) 本部: 090-3278-2083



■活動のきっかけ・実現までの経緯

平成27年に、元老人会長を経験した者6人が発起人となり、「助け合いのまちづくりを目指した仕組みをつくろう」と検討を重ね、町民対象の大がかりなアンケートも併せて実施し、SSPを立ち上げました。

活動の幅を徐々に広げ、部会に分かれて活動しています。町内で会員を募り、100名を超えました。元気な人だけを募っているのではなく、「助け合い町づくり」の趣旨に賛同する人は誰でもOKとしています。

利用者さんの声

サロン・ヘルプ・ウォーキング・菜園活動への参加者はいつも生き生きとして、元気をもらっている。90歳を超えた人も何人か居て、サロンが待ち遠しいとのことである。

高齢者には「歩いて10分」がノーマルと言いたいところだが、20分くらいかかる人もいたり。1300戸もあると、皆に知らせたいことが山ほどあっても、広報活動が大変である。

活動者の声

□で助け合おうと言うのは容易だが、これだけ地域コミュニティ意識が薄らいだり、各自が生活に追われて余裕がなくなったり、自分のことは自分でといった自分責任論の風潮が広がってくると、「助け合い町づくり」も容易なことではない。イベントをすることで満足はしてられない。

人々の「絆」「つながり」をどうしてつくるか、目をかけ気にかけて、声かけ合う地域づくりは、子どもたちも参加しての地域運動にしていきたいものである。サロン・ヘルプ・ウォーキング・菜園もそれを目指しての取組である。そのためには、さらにSSPがリード役となり町内会や町内各種団体に声をかけ、「あいさつ・声かけ」運動を進めていきたい。

■活動に対する思いや目標、継続するノウハウ

備品やボランティア保険など、自治会からのバックアップもあり有難いです。